



NO.1441
12月3日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F四三二一四四五七

移動型医療サービス

「いきまーす」車両内覧会

網走市は、今年度予算の新規事業として、移動型医療サービス事業費4,852万円を計上し、通院困難な方の負担軽減を図るため、ヘルスケアモビリティ（車両）を導入し、訪問型のオンライン診療を行う目的で事業を進めてきました。

11月26日午前10時から保健センターで、移動型医療サービス事業の車両内覧会が行われました。水谷市長

その様子は、その日のテレビでも報道されています。

市議会出前授業

11月27日、網走市議会は網走桂陽高校3年生（133名）に向けて出前授業「議会報告会兼意見交換会」を行いました。これは、ここ数年毎年行っており、若者

桂陽高校生と意見交換会

に市議会を身近に感じてもらえる活動になっています。まず、事前にもらった高校生から質問に答えながら、市議会について説明を行いました。その後、「選挙に行こう！」をテーマに14のグループに分かれ意見交換会を行いました。各市議は、高校生と真剣にかつ



真剣な眼差しで高校生と語る松浦議員

「家の近くで投票してもらう」「ウェブ投票」「スパーや学校に投票箱を設置」「政治の『見える』化を」と



診察を受ける水谷市長



医師が患者をネットで診察

松浦 奮戦メモ



これが、唯一の戦争被爆国の日本政府は参加しません。この条約は、世界の97カ国が署名・批准している重要な条約です。ロシアが核を振りかざし、アメリカをはじめ核保有国が核抑止論にしがみつき、イスラエルの閣僚が核攻撃も選択肢の一つと述べるなど「現実の核の危機が強まる中、核兵器禁止条約が確実に核使用の手を抑えている」のです。この条約は、被爆者や核実験被害者の支援と国際協力をうたっています。日本政府は、条約に参加する前であっても被爆者、核実験被害者への支援の活動に協力すべきです。少なくとも唯一の戦争被爆国の政府としてオプザバーとしてでも参加すべきです。一日でも早く地球上から核兵器をなくし、核抑止論という「脅威」のない世界にしましょう。

村ちゃん 奮闘記



8時間働けば普通に暮らしていける社会をつくりたい。もう一つは希望を持って続けられる農業にしたい。美幌で農業をしてきた父は家を次いで欲しいとは言いませんでした。小さくても農業が続けられる政策にしていきたい。そして、何よりも人権が大切にされる社会、戦争のない社会をつくりたい。そう思って日本共産党に入りました。

しかし、正社員が減らされ非正規労働者は4割になり、この30年間で実質賃金は64万円も減り、生活はさらに厳しくなりました。亡国の輸入政策により農業者は減り続け、食料自給率は38%までになりました。国民の食料をどうしようとしているのか、先が見えませぬ。そして、政府は戦争の過ちを忘れ再び戦争できる国へと突き進もうとしています。相手国の脅威にならないという憲法を忘れ、2千キロも飛んでいくミサイルを持ち、自衛隊がアメリカ軍と一緒に戦えるようになろうとしています。戦争を体験した先人の人々が亡くなっている今、初心を忘れずにがんばります。

流水

10月末、4年ぶりとなる「松浦カップ」が、能取のパークゴルフ場で後援会ら25名の参加で開催されました▼パークゴルフは近所の公園とキャンプのときに数回やったのみ。「大会」の参加は初めてです。まず驚いたのは、皆さん腰にいろいろな装備が・・・。ボールをはめるホルダーやカップに入った球をかがまずにつかめるマジックハンド(?)を下げている人も。クラブとボールだけ持ってプラッとお出かけた私は、一打目を打つときから「あれっ?皆さん台座のようなものを置いている」。そのことに気づいた皆さんは、次から自分が打ったあとに「ホイ!」と貸してくれ、声かけも優しく、「いいよ、ナイス!」

「最後まで球見て〜」。バンカーにつけてしまった足跡もキレイにならしてくれ、ラインにボールがあつたらマーカーを置いてくれ、とそれはもう親切にお世話を下さいました▼結果は、もちろん最下位でしたが、賞品と立派な大根をお土産にもらい、とっても楽しい時間となりました。次回はもう少し練習してから・・・ぜひ皆さんも参加してみませんか。

柿ピー子